

第4回札幌市行政評価委員会

会 議 録

日 時：2019年12月11日（水）午前9時30分開会
場 所：札幌市役所本庁舎 6階 1号会議室

1. 開 会

●石井委員長

皆さん、おはようございます。

それでは、第4回目の札幌市行政評価委員会を始めさせていただきたいと思います。

2. 議 事

●石井委員長

今日の最初の議事は、外部評価報告書（最終指摘）についてでございます。

これにつきましては、事務局から説明していただきまして、議論をしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

●推進担当係長

それでは、説明させていただきます。

お手元の冊子状の資料1をご覧ください。

まず、全体の構成ですけれども、第1章から第4章までの四つに分けておりまして、第1章で外部評価の概要、第2章でワークショップの概要、そして、第3章で具体的評価の結果について、第4章で出資団体の評価に関してという構成にさせていただいております。

まず、1ページ目と2ページ目が第1章で、評価の概要について記したものになるのですけれども、こちらにつきましては、これまでの評価委員会の中で、それぞれご説明させていただいたことをまとめたものになりますので、今回は詳細の説明を割愛させていただきます。

続きまして、3ページから5ページがワークショップの概要となっておりますが、こちらもご説明させていただいたものになりますので、説明は割愛させていただきます。

それでは、6ページの第3章、具体的評価をご覧ください。

まずは、6ページから10ページに、今年度、皆様に評価していただきました対象の施策の紹介、対象事業、事業費などの基本的な情報をまとめているところでございます。

続きまして、11ページをご覧ください。

ここからが具体的評価結果となっております。

構成としましては、まずは評価の指摘事項の総括という形で置かせていただいた後に、個別の指摘事項の詳細を記載するという流れでまとめさせていただいております。

まずは、11ページの指摘事項の総括についてご説明させていただきます。

このページでは、施策ごとに指摘の内容を総括してまとめております。

まず、施策4-2、魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進でございますけれども、こちらは、札幌・北海道の観光消費の拡大、付加価値の向上等を行う施策でございます。事業としては文化財などの関係がありました。

この内容としましては、札幌市は、時計台などの文化財を有しておりますけれども、

周知が不十分で、魅力や価値を生かし切れていない施設があること、そして、文化財の保存に当たっては、効果的な情報の発信について、まちづくりへの活用といった視点を入れながら取り組んでいく必要があるということをもとめさせていただいております。

続きまして、イ、5-1になります。

5-1は、中小企業の海外ビジネス展開や集客を図るために、企業や市民の国際化を促進するための仕組みを強化するという施策になっております。

こちらにつきましては、今後どのように海外の力を取り込んでいくのが札幌市の経済において非常に重要であること、そして、市内企業の積極的な海外進出に向けて、これまでの取組結果や事例の周知、共有、意識の醸成の取組をより一層行うことが必要というふうにもとめております。

続きまして、ウ、6-2の施策になります。

こちらは、女性を初め、誰もが活躍できる社会の実現を目指していくという施策になっております。

ここでは、今後、女性や高齢者の雇用確保がますます重要となってくること、SDGsの視点なども前回のご議論の中でいただきましたけれども、そういった視点を踏まえながら、これまで以上に積極的に事業展開をしていく必要があること、事業実施に当たっては、市役所内部の意識醸成を進めて、市民や企業への効果的な広報について、引き続き、取り組んでいく必要があるということをもとめております。

続きまして、エ、施策がまたがるものになりますけれども、4-2、9-6に共通する事項として、公益法人への補助金のお話というものがございました。

補助金交付を通じて、各団体に期待する姿を確認した上で、あり方の検証を行う必要があるということをもとめさせていただいております。

続きまして、12ページをおめくりください。

ここは、それぞれの具体の指摘事項に関する部分になっております。

前回の委員会の中で、指摘の内容をご覧いただいたのですけれども、そのときのご議論を踏まえて修正をさせていただいております。一つずつご説明したいと思います。

まず、ナンバー1、補助金の在り方についてでございます。

前回の議論の中で、補助金交付について、やはり団体のあり方の検討にも踏み込んで指摘していくべきではないかというご意見をいただきました。

そこで、時代の変化に伴い、各団体を取り巻く環境というのが変化している可能性があるということ等をうたった上で、具体の指摘内容としては、「補助金に関して、札幌市が各団体に期待する姿を再確認し、その目的や効果、必要性などを引き続き検討した上で、多角的な視点から補助金の在り方について検証を行うこと。」というようにさせていただいております。

続きまして、ナンバー2、文化財保護に関する情報発信についてでございます。

文化財は施設によって認知度に差があること、札幌の魅力アップや観光振興、地域活

性化に寄与する貴重な地域資源であることに鑑みまして、「文化財の保存を行うにあたっては、文化財をまちづくりに生かしていくための手法の検討も含め、より一層、文化財の魅力についての情報発信に取り組むこと。」という指摘にまとめさせていただいています。

続きまして、ナンバー3、市内企業の海外進出支援の検討についてです。

前回の委員会でのご議論にありましており、海外進出支援においては、個々の企業の状況、ニーズに合わせた多様なアプローチが必要ではないか、そして、これまでの取組結果の周知や成功事例の共有というのが企業にとっても重要ではないかといったご意見を受けました。

指摘事項として、「市内企業の積極的な海外進出の促進に向け、現状の検証を行った上で、取組結果や事例の共有、マインドの醸成や輸出手続き支援など、企業への支援の方法や周知方法について検討すること。」といった形でまとめております。

続きまして、ナンバー4の市民・企業に対する効果的な広報についてでございます。

札幌市では、女性の有業率が全国的にも低いという特性を受けて、女性活躍に向けた支援策をさまざま行っているところでありますけれども、女性が働きやすい環境の整備という面におきましては、やはり企業側の理解というのが欠かせないというような議論がございました。

そういったところも含めまして、「セミナー等の事業の実施にあたっては、市民に対する広報のみならず、企業への訴求も含めた効果的な広報について、引き続き検討すること。」というようにまとめさせていただいています。

続きまして、ページをめくっていただきまして、14ページになります。

各取組にかかる関連部署との連携についてでございます。

主に女性活躍推進に向けた取組を進めるに当たっては、庁内でどのように効果的に連携していくのが重要ですし、次期中期実施計画、札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019においても、SDGsの推進な視点を盛り込んでいるところでございます。

今後の取組においては、SDGsの視点が必須となるのではないかと前回もご議論いただきましたので、そういったところも盛り込んだ上で、「他部署との連携の実現に向け、庁内における女性活躍推進の意識醸成を、より一層進めること。」というようにまとめさせていただいております。

個別の指摘事項についての説明は以上になります。

続きまして、15ページは、対象とした事業を局別に並べた表になっております。

次に、16ページをおめくりいただきまして、第4章、出資団体の取組に関する評価のご説明をさせていただきます。

前回、経済観光局のヒアリングを行いましたけれども、その中で説明がありました団体の概要、それから、当該財団のあり方に関するこれまでの検討経緯ということで、1

番、2番にまとめさせていただいております。

3番に、前回委員会で経済観光局から説明があったことについて、簡単にまとめさせていただいております。

幾つか、ご説明させていただきますと、まずは、平成29年度に市内展示機能の在り方検討調査を札幌市で行いまして、市内で展示機能を持つ各施設の稼働率は高く、展示機能自体はやや不足の状態にあるということがわかりました。そういった状況の中、アクセスサッポロは、展示会や見本市で多数活用されておりまして、必要性が高いものと判断いたしました。

一方で、施設の老朽化等が進んでいることから、長期利用をするのか、更新するのかを検討する時期にもあります。新MICE施設の整備や冬季オリンピック・パラリンピック等の影響もありますことから、2020年をめどに移転、更新の是非を改めて検討することとしているところでございます。

続きまして、財団についてですけれども、経営状況は改善しつつあり、財団によるアクセスサッポロという施設の管理運営は可能であると考えております。

また、施設を適切に運営しているほか、札幌市の産業振興施策の補完的役割を果たしていることもありまして、出資の目的は適切であると現時点では判断しております。

総括、結論となりますけれども、札幌市としましては、「本市による経営の関与や、減免等による使用料水準の維持といった一定の関与が必要であることから、現施設を存続させる間は、財団が管理運営を行い、札幌市の出資は継続する。」というように経済観光局から説明があったところでございます。

それを踏まえまして、前回委員会の中で、委員の先生方にこの点について、どのようにお考えになるのかというご議論をいただきました。その内容を踏まえまして、4番、評価の案をまとめさせていただいております。

1点目、「市内展示機能の需要、施設の活用状況等を勘案すると、現時点で当該施設が札幌市の産業振興に必要であると判断したことは、妥当であると考え。」。

2点目、「2020年度以降、施設移転・更新の是非にあたっては、未来の札幌のまちがどうあるべきかという視点に立ち、市民の声を踏まえた検討を進めていただきたい。」。

3点目、「出資の目的が適切に達成されていることに加え、市の施策の動向等様々な要因が関わることも考慮すると、出資継続の判断は妥当であると考え。」とまとめさせていただいたところでございます。

説明は以上になりますので、ご議論いただければと思います。

●石井委員長

今のご説明に関して、ご質問、ご意見があれば、お願いしたいと思います。

今年は、結果的に、言われたほうが困るかもしれないような抽象的な指摘ばかりになってしまっていますね。

アクセスサッポロの後をどうするかというのは、中島公園あたりの施設がどうできる

かを踏まえて、どこにどうするかという話になるということですか。

●推進課長

そうですね。ただ、新MICE施設自体は、どちらかというと、国際会議に軸足を置いているので、こちらとは市場が余りバッティングしないと考えます。

●石井委員長

いや、バッティングしますよ。

●推進課長

がちりと重なるというものではないというイメージで考えております。

●石井委員長

でも、全体のマーケットをどう見て、どう取り込むかということで言うと、限りなくバッティングするわけです。

●推進課長

こちらのアクセスサッポロは、どちらかというと、商品展示や、市民を直接対象としたイベントも数多くやられていますので、新MICE施設とは客層が若干違う部分があるのかなというところでは。

●石井委員長

目的どおりに稼働したら別の世界だけれども、現実的には目的どおりに稼働するかどうかが見えていないので、稼働しなかったらだんだん重なってくるわけです。

●推進課長

そうですね。

あとは、オリンピック・パラリンピック用のIBCと呼ばれる国際放送センターの跡地をどう活用するかなどによって、アクセスサッポロの在り方がどう変わっていくのかというところが大きくあります。ですから、経済観光局としては、今、その判断を下すのは時期尚早であるというような判断になっているのかと考えます。

●石井委員長

逆に、急いで判断する必要はないのだと思うのです。どっちにしても、いろいろな状況を見定めたほうが良いとは思いますが。

●推進課長

市内にあれだけの大きさの駐車場があって、広さのある展示場というのは代替するものがなかなかない状況です。

●石井委員長

でも、結局、建て替えるとしても、壊してしばらく待つというふうにはできないですよ。

●推進課長

そうなのです。

●石井委員長

だから、そこが一番難しいですよ。場所を上手に選ばないと、うまく機能を展開することができなくなるみたいなことが起こるわけでしょう。

●推進課長

一方で、あの産業団地は全体的に老朽化が進んでいるものですから、それぞれの建てかえの種地としての要望もあったりするのです。今、いろいろなことが絡み合っていて、老朽化という視点だけで建て替え議論をするというのは難しく、全体での整理をした上で進めないと手をつけるわけにはいかないという状況になっています。

●石井委員長

何かご意見はございますでしょうか。

●上岡委員

そろって見ると、確かに、石井委員長がおっしゃったように、結果的に抽象的な指摘になってしまったなと感じるところではあるのです。

●石井委員長

こういう年もあるということで、しょうがないですよ。

●上岡委員

でも、そういう点では、前回の議論の中で指摘があった点については、うまく取り入れていただいて修正されているかなと感じます。

●石井委員長

最後のナンバー5の関連部署との連携の話ですが、連携に意味があるように書くと趣旨が少し違うかもしれないなと思います。結局、これは推進策をもっと出してほしいという意味合いだから、連携が実現すること自体は意味がないというか、目的ではないのだと思うのです。だから、意識醸成をしたからといって施策が強化されるとは限らないのです。

●推進課長

確かに、目的と手段が混同して見えてしまいますね。

●石井委員長

ちゃんと読んでもやはり書き方が弱いというか、何をしたらいいかがよくわからないのです。他部署との連携強化や多様な政策、多様な施策立案とか実現に向けみたいな、そんな感じですかね。

●上岡委員

多分、今、もともとやっているような施策も、各部署が単独とまでは言えないですけども、やっている形になっていて、それが有機的に機能し合っていないという問題意識があるということですよ。それをどう表現すればいいかということだと思います。確かに、そうなると、連携の実現に向けてやるというよりは、そのさらにもう一個上のところまで書き込んでいただかないと、何のためにするのかというのが見えにくくなっ

てしまうのかもしれないですね。

●石井委員長

施策の多様化や総合化とか、そんな感じでしょうか。

●上岡委員

そうですね、多様な施策をうまく機能させるということだと思います。そこを目的にするというところですね。

●推進課長

多様な政策立案、多様な政策がより効果的に進捗するようにと。

●石井委員長

他部署との連携による施策の多様化、総合化の実現に向けとか、総合化を推進するためにという感じですね。

「他部署との連携による施策の多様化、総合化を推進するために、庁内における女性活躍推進の意識醸成を、より一層強めること。」とか、そんな感じではいかがでしょうか。

●推進担当係長

「他部署との連携による施策の多様化、総合化の実現に向け、庁内における女性活躍推進の意識醸成を、より一層進めること。」というようなイメージですか。

●石井委員長

ここは、もっと頑張ってくださいということが伝わればいいので、適切な言葉があったら直してください。

●推進担当係長

かしこまりました。

●石井委員長

蟹江副委員長、いかがですか。

●蟹江副委員長

ナンバー1に関しては、過去の経緯に基づいて、何となく補助金を出しているのではなくて、もう少ししっかり状況を確認あるいは再評価した上で、増やすべきであれば増やす、減らすべきであれば減らすというメリハリをということだと思います。

残りの四つに関しては、それぞれ、それなりにいろいろなことをやられているのでしようけれども、具体的にこうしたほうがいい、ああしたほうがいいという指摘をするというよりは、さっきお話があったように、もう一段頑張ってくださいというような感じですね。

今回は、個々のものについて、もっと目立つというのも変ですけれども、こういうことをやっているということが広く知られるような形で、もう一步を進めていただきたいというものが対象になったという感じがします。ですから、抽象的と言えれば抽象的かもしれませんが、全体の底上げをしてほしいということです。

●石井委員長

ある意味では、比較的珍しい言い方が続いていますね。やめろとか、やらなくていいではなくて、逆に、もっとやれという話を言っているのです。

国際化の話だって、僕も関連することをやっているけれども、本当に企業の意識がついてきていないからみたいなことがあるのです。やはり、札幌市が目指すべき方向に関して施策がまだ十分ではないのではないかと、女性活用が海外まで向かってマーケットを拡大するみたいな、経済については、札幌市の施策展開は、正直に言うと、申しわけないけれども、全体的に弱いと思います。ですから、全体としては、もっと強く頑張ってくださいという話になってしまいます。

でも、いろいろな状況を考えたら、僕たちが議論していたことは、やはり経済施策は札幌市全体としてもっと強化しないとだめではないかと、そういう感じなのでしょうね。

●上岡委員

これまで以上に、今まで以上にみたいな表現が入っているのも、その表れですよ。

●石井委員長

たまには、行政評価委員会から言われたからもっと予算と人が欲しいということがあってもいいと思います。今回は、どちらかという、全体的にそういう趣旨の話になっていますよね。

市長にもそういうふうには言えいいのです。おとなしく書いているけれども、予算も資源も足りないのではないですか。

●推進課長

それを言っただけだと、現場の部局も大変心強く思うと思います。

●石井委員長

心はそういうことなので、むしろそういうふうにお伝えしなければならないでしょうね。

市長も、女性のほうは大分わかっているような感じはしますが、一般的な経済施策の重要性みたいなことは、上の方は案外理解していないところがあるかもしれません。

それでは、こんなところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

特によろしいようでしたら、少し修正をお願いした点がありますので、修正をお願いできればと思います。

では、次に、その他がございますけれども、委員の皆さんから特にございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

事務局から何かございますか。

●推進担当係長

今いただきました修正案を反映したものを、改めましてデータで送らせていただきます。

そして、1月30日木曜日の10時から10時半ということで、市長への手交式の日程をとらせていただいています。

今のところ、委員の皆様全員のご都合が合う日程かなと考えております。

手交式の流れや資料の関係につきましては、追って、メール等でご連絡させていただこうかなと考えているところでございます。

以上です。

●石井委員長

では、1月30日の午前中ということで、ぜひできるだけ皆さんにご出席をいただきまして、みんなで意をお伝えして、やっていただくということで臨みたいと思います。

3. 閉 会

●石井委員長

では、これで、第4回札幌市行政評価委員会を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございます。

以 上